

英語を楽しく

☆ 料理に使う ‘フライパン’ の日本人発音は とても good !

フライパンを英語で書くと **flying pan** ですが、日本では **ing** の発音せずに **fly pan** となっています。もちろん文字で書くと誤りですが、発音的には『フライパン』は、将に正しい英語。

「日本人に聴き取りにくい発音が聴き取れなくて良い結果を生んだ。」といえますね。



☆ 英語で言いたいことを表現するのは むずかしい。だから

「彼にはやましいところがありません。」

を英訳すると。

He has nothing to feel ashamed of. ashamed = (形) 恥じて

He has nothing to feel guilty about. guilty = (名) 罪

等になりますが、こんな英文、誰も言わない。上の文の意を汲むと

He has nothing to hide. (隠すものはない。) ですが、= 単刀直入すぎるのでこれをもっともっと意を汲み、もっと英語らしく表現すると

He can look anybody in the eye.

に落ち着きます。

最初の『彼にはやましいところがありません。』とは ずいぶんかけはなれているじゃないか。」

と叱られそうですが、それは、日本の文に囚われるからです。「やましい」という英単語を頭の中で置き換えようとするからです。

「囚われるな！」と言われても難しい。だから、

「英語を話すとき日本語を忘れて！」

という人もいるけれど、これまた難しい。

だから、あっさり考えて、気楽に

「こんな言い方でいいんじゃない。」

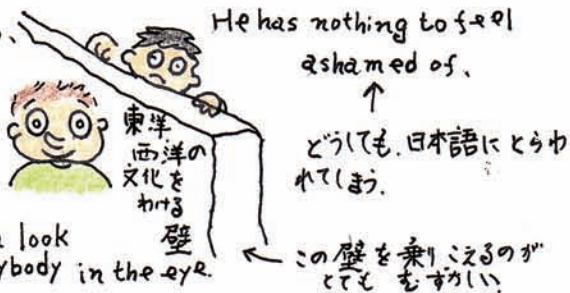
と書いて話していくと

「案外気楽に英文ができる」

のではないのでしょうか。

Simple is best. です。

Yes, I can.



He can look anybody in the eye.

「彼にはやましいところがありません。」を英語にすると 東洋 西洋のちがいがあ。



Yoshi

Can you look anybody in the eye?

また帰るの!

